

平成31年度

# 全国学力・学習状況調査報告書

当別町教育委員会

# 目 次

I 調査について	1
II 小学校の分析	2
1) 学力調査	
2) 学習状況調査（生活習慣・学習環境等）	
III 中学校の分析	11
1) 学力調査	
2) 学習状況調査（生活習慣・学習環境等）	
IV 当別町学力向上プラン	23

# I 調査について

## 1 目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 2 対象学年

- (1) 小学校 第6学年
- (2) 中学校 第3学年

## 3 内容

- (1) 対象教科：国語、算数・数学、英語（中学校）

【国語、算数・数学】	【英語】
<ul style="list-style-type: none"><li>・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識、技能</li><li>・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容</li><li>・国語、算数・数学においては、記述式の問題を一定割合で導入</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと」、「書くこと」に関する問題を出題し、記述式の問題を一定割合で導入</li><li>・「話すこと」に関する問題の解答は、原則として口述式によるもの</li></ul>

- (2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

## 4 期日

平成31年4月18日（木）

## 5 実施した学校及び児童生徒数

	対象学校数	対象児童生徒数	参加児童生徒数	参加率
小学校	2	91人	86人	94.5%
中学校	2	117人	113人	96.6%
合計	4	208人	199人	95.7%

※参加児童生徒数は、対象となる児童生徒数のうち、当日体調不良等により参加できなかった児童生徒を除いた人数

## Ⅱ 小学校の分析

### 1) 学力調査

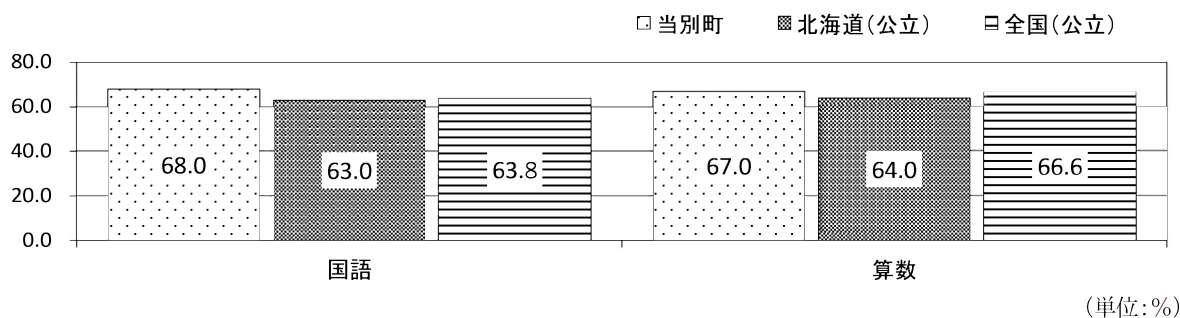
#### 1 教科ごとの平均正答率と平均正答数

	国語		算数	
	平均正答率(%)	平均正答数/問題数	平均正答率(%)	平均正答数/問題数
当別町	68.0	(9.5/14)	67.0	(9.3/14)
北海道(公立)	63.0	(8.8/14)	64.0	(9.0/14)
全国(公立)	63.8	(8.9/14)	66.6	(9.3/14)
全国との差	+ 4.2	(0.6/14)	+ 0.4	(0/14)

※平均正答率・平均正答数は、国から提供されたデータによる。

※( )内の平均正答数と問題数欄は分子が平均正答数で、分母が問題数として記載。

※平均正答率…平均正答数を百分率で表示。国語、算数ごとの平均正答率は、それぞれの平均正答数を設問数で割った値の百分率(概数)。



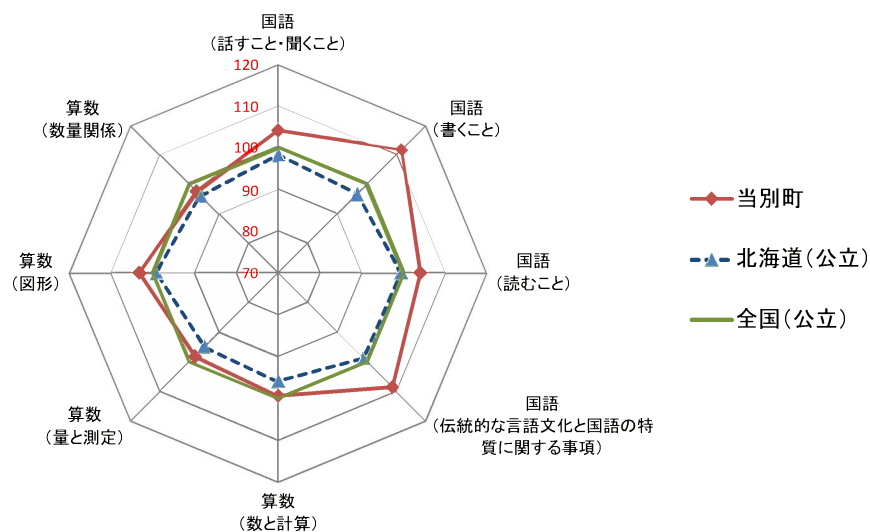
#### 2 全国平均を基準(100)とした場合の領域ごとの正答率

	国語 (話すこと・ 聞くこと)	国語 (書くこと)	国語 (読むこと)	国語 (伝統的な 言語文化と 国語の特 質に関する 事項)	算数 (数と計算)	算数 (量と測定)	算数 (図形)	算数 (数量関 係)
問題数	3/14	3/14	3/14	5/14	7/14	3/14	2/14	7/14
当別町	104.0	111.7	103.9	108.6	99.4	98.1	103.1	97.5
北海道(公立)	98.2	96.7	99.4	98.9	95.9	94.9	99.1	96.2
全国(公立)	100	100	100	100	100	100	100	100

※教科の領域別に全国を100とした場合の状況をレーダーチャートで示したものの。

※(当別町児童の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

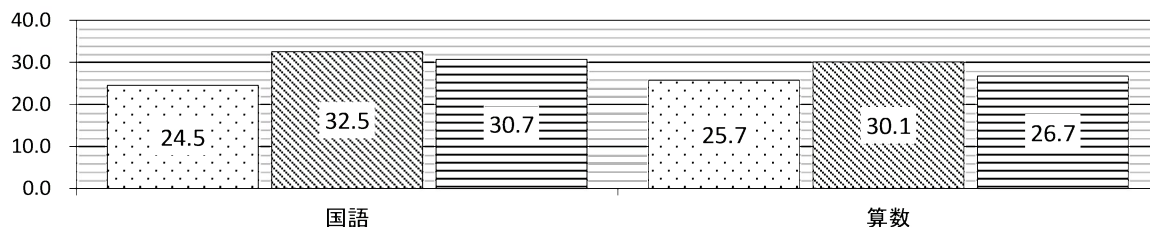
※1つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数と一致しない。



### 3 全国の下位約25%と同じ正答数の範囲に含まれる児童の割合

全国の下位約25%と同じ正答数の範囲に含まれる児童の割合	国語			算数		
	当別町	北海道	全国	当別町	北海道	全国
	24.5%	32.5%	30.7%	25.7%	30.1%	26.7%
全国との差	14問中7問以下 ▲ 6.2		少ない	14問中7問以下 ▲ 1.0		少ない

□ 当別町   □ 北海道   □ 全国



(単位:%)

### 4 教科ごとの結果概要

#### 【国語】

- ① 平均正答率は、全国より4.2ポイント高く、児童の学力向上が示される結果となった。
- ② 領域ごとの正答率では、すべての領域で全国よりも高い傾向を示しており、特に「書くこと」の領域で、全国を大きく上回っている。
- ③ 下位層の割合は、全国より6.2ポイント低く、学力の底上げが見られる結果となった。

#### 【算数】

- ① 平均正答率は、全国より0.4ポイント高く、児童の学力向上が示される結果となった。
- ② 領域ごとの正答率では、「図形」は全国より高く、「数と計算」はほぼ全国並みだが、「量と測定」「数量関係」は全国より低い傾向を示している。
- ③ 下位層の割合では、全国より1.0ポイント低く、学力の底上げが見られる結果となった。

#### 【学力の底上げ】

- ① 当別町独自で小中一貫教育推進講師を配置している。
- ② 新学習指導要領に対応した授業改善を積極的に進めている。
- ③ 小学1～2年生の低学年で、学習規律の徹底化を図っている。
- ④ 安心して学習できる学級づくりを行っている。
- ⑤ ICT機器を活用して、効率の良い授業を行い、振り返りの時間を確保している。
- ⑥ 家庭学習の定着に向けて、学校と家庭・地域が連携した取組を進めている。

### 5 改善策

#### 【国語】

- ① 研究教科が「国語」であり、「考えを深める」ことに力点を置いて、「主体的・対話的で深い学び」を実践していく学習の流れを構築していく。
- ② 授業改善チームを活用して、授業改善を加速させる。
- ③ 読書習慣の定着を家庭と連携して進めていく。

#### 【算数】

- ① 少人数、習熟度別などを取り入れた授業方法を工夫し、理解の遅い子のみならず、理解の早い子への支援を手厚く行う。
- ② 授業改善チームを活用して「主体的、対話的で深い学び」の視点を取り入れた授業改善を積極的に進める。

#### 【授業全般】

- ① 全教職員が「カリキュラム・マネジメント」の必要性を理解し、日々の授業等について、教育課程全体の中での位置づけを意識させる。
- ② 「主体的、対話的で深い学び」の実現に向けてアクティブ・ラーニングの視点を取り入れた授業改善を積極的に進める。
- ③ 授業の始めに「見通し」を、終末に「振り返り」を設定し、ノートに「自分の考え」を記述する場面を多く取り入れる。

## 2) 学習状況調査（生活習慣・学習環境等）

### 【国語の学習について】

全国と比べ優位な項目	当別町	全国	差
国語の勉強は大切だと思いますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	70.9	68.6	2.3
国語の授業の内容はよく分かりますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	48.8	41.2	7.6
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	69.8	64.2	5.6
国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で、話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようとしていますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	40.7	37.2	3.5
国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしていますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	37.2	36.2	1.0
国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝わるように理由を示したりするなど、話や文章の組立てを工夫していますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	27.9	26.1	1.8
国語の授業で文章や資料を読むとき、目的に応じて、必要な語や文を見つけたり、文章や段落どうしの関係を考えたりしながら読んでいますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	33.7	30.3	3.4

全国と比べ改善が必要な項目	当別町	全国	差
国語の勉強は好きですか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	19.8	26.5	△6.7

#### 特徴的な傾向

- ・「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」という項目が、全国より 5.6 ポイント高い。このことは、国語の学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力」が育成されていることの証左であり、今後も児童の興味・関心を生かし、自主的、自発的な学習が促されるように授業改善に取り組むことが必要である。
- ・思考力や判断力に関する項目は、全国よりも若干高い数値が出ているものの、まだ育成が必要な事項であり、指導改善を一層図っていきたい。

## 【算数の学習について】

全国と比べ優位な項目	当別町	全国	差
算数の勉強は好きですか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	43.0	40.6	2.4
算数の勉強は大切だと思いますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	76.7	75.6	1.1
算数の授業の内容はよく分かりますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	60.5	49.3	11.2
算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	54.7	41.4	13.3
算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか (「当てはまる」と回答した割合)	53.5	51.7	1.8
算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	52.3	46.3	6.0
算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	59.3	48.4	10.9
算数の授業で問題の解き方や考え方がわかるようにノートに書いていますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	74.4	57.5	16.9

全国と比べ改善が必要な項目	当別町	全国	差
算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	69.8	72.3	△2.5
算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	46.5	47.7	△1.2

### 特徴的な傾向

- ・「算数の勉強は好きですか」という項目が、全国より 2.4 ポイント、「算数の授業の内容はよく分かりますか」という項目が、全国より 11.2 ポイント、「算数の授業で問題の解き方や考え方がわかるようにノートに書いていますか」という項目が、全国より 16.9 ポイント高い数値が出ている。このことは、教員が、地道に授業改善に取り組んできた成果であり、今後は、より一層「思考力」の育成を図るような授業改善に取り組んでいきたい。
- ・「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」という項目が、全国より 2.5 ポイント低い結果となっている。算数の学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力」を育成できるように児童の興味・関心を生かし、自主的、自発的な学習が促されるように授業改善に取り組むことが必要であると考え。

## 【家庭学習について】

全国と比べ優位な項目	当別町	全国	差
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか (「している」と回答した割合の合計)	38.4	33.1	5.3
昼休みや放課後、学校が休みの日に、本(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか (「だいたい週に4回以上」「週に1～3回程度」と回答した割合の合計)	18.6	17.2	1.4

全国と比べ改善が必要な項目	当別町	全国	差
学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む) (「3時間以上」「2時間以上、3時間より少ない」と回答した割合の合計)	14.0	29.3	△15.3
学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く) (「2時間以上」「1時間以上、2時間より少ない」と回答した割合の合計)	12.8	18.3	△5.5

### 特徴的な傾向

- ・「学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)」という項目で、全国よりも15.3ポイント低い数値が出ている。しかしながら、「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」の項目では全国より5.3ポイント高い数値が出ている。このデータから、家庭学習の定着が進んでいるが、学習時間が短いことがわかる。生活習慣の改善と合わせて学習時間を増やすことにつなげていきたい。
- ・「学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)」の項目では、全国より5.5ポイント低い数値が出ている。今後、ますます「読解力」が重要となることから、その育成には読書が有効であり、学校はもとより、家庭での読書についても啓発が必要である。「家読」の推進を社会教育とも連携して図っていく必要がある。



【基本的な生活習慣について】

全国と比べ優位な項目	当別町	全国	差
朝食を毎日食べていますか (「している」と回答した割合の合計)	88.4	86.7	1.7

全国と比べ改善が必要な項目	当別町	全国	差
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか (「している」と回答した割合の合計)	33.7	38.9	△5.2
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか (「している」と回答した割合の合計)	53.5	58.7	△5.2

特徴的な傾向

- ・規則正しい就寝・起床の習慣が、全国より 5.2 ポイント低い数値が出ている。学校と家庭が連携して、基本的な生活習慣づくりを行っていく必要がある。
- ・「朝食を毎日食べていますか」という項目では、全国より 1.7 ポイント高い数値であるが、昨年と比較すると 4 ポイントほど下がっており、今一度、PTAで取り組んでいる「早寝、早起き、朝ごはん」運動を確かな取り組みにつなげていく必要がある。
- ・基本的な生活習慣づくりでは、家庭内でのルールづくりが重要である。子どもにルールを押し付けるのではなく、子どもと親と一緒にルールづくりを進めていきたい。

【指導に関わる項目について】

全国と比べ優位な項目	当別町	全国	差
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	57.0	43.1	13.9
先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	72.1	59.5	12.6
学級みんなで話し合っただけで決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがありますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	57.0	45.8	11.2
5年生までに受けた授業で、コンピュータなどのICTをどの程度使用しましたか (「ほぼ毎日」と回答した割合の合計)	47.7	10.4	37.3
授業でもっとコンピュータなどのICTを活用したいと思いますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	66.3	60.8	5.5
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	50.0	30.3	19.7
授業で学んだことを、ほかの学習に生かしていますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	47.7	38.9	8.8
総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思いますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	52.3	25.1	27.2
あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思いますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	34.9	30.1	4.8
学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいると思いますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	43.0	28.8	14.2
道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいると思いますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	50.0	42.1	7.9
5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	52.3	33.0	19.3

全国と比べ改善が必要な項目	当別町	全国	差
5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	24.4	24.7	△0.3

## 特徴的な傾向

- ・「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」という項目で全国より 19.7 ポイント高い数値が出ている。このことは、子ども同士の間で、自由に話し合える学級づくりができている証左である。
- ・「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」という項目で、全国より 13.9 ポイント高い数値が出ている。教師が、子どもたちを認め、褒めることでより成長が加速されるので、今後も、子どもたちの良さを積極的に認め、自己肯定感を高めていくように支援していく。
- ・コンピュータなどの ICT の活用が活発であるため、効率的な学習が行われている。

## 【その他について】

全国と比べ優位な項目	当別町	全国	差
自分には、よいところがあると思いますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	39.5	38.8	0.7
ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	87.2	79.5	7.7
学校に行くのは楽しいと思いますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	54.7	53.9	0.8
人が困っているときは、進んで助けていますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	44.2	40.4	3.8
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	86.0	85.0	1.0
人の役に立つ人間になりたいと思いますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	77.9	74.7	3.2
読書は好きですか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	46.5	44.3	2.2
新聞を読んでいますか (「ほぼ毎日」「週に1～3回程度」と回答した割合の合計)	24.4	19.0	5.4
今住んでいる地域の行事に参加していますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	40.7	37.2	3.5
外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	44.2	39.2	5.0
日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	51.2	46.7	4.5

全国と比べ改善が必要な項目	当別町	全国	差
家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか （「している」と回答した割合の合計）	46.5	50.1	△3.6
将来の夢や目標を持っていますか （「当てはまる」と回答した割合の合計）	59.3	65.9	△6.6
難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか （「当てはまる」と回答した割合の合計）	22.1	30.1	△8.0
学校のきまりを守っていますか （「当てはまる」と回答した割合の合計）	32.6	46.7	△14.1
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか （「当てはまる」と回答した割合の合計）	17.4	18.9	△1.5

#### 特徴的な傾向

- ・「学校のきまりを守っていますか」という項目が全国より 14.1 ポイント低い数値になっている。これまでと比較して「規範意識」に低下傾向が見られることから、自律的で責任のある行動がとれる指導を充実させたい。
- ・「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか」という項目で、全国より 8.0 ポイント低い数値になっている。今後、予測困難な時代をたくましく生き抜いていかなければならない子どもたちに、チャレンジ精神を育む活動を積極的に取り入れていきたい。
- ・子どもと地域との関係性が良くなってきている。コミュニティ・スクールが立ち上がり、地域ぐるみで子育てできる環境が整備されてきたことが要因と考えられる。

### Ⅲ 中学校の分析

#### 1) 学力調査

##### 1 教科ごとの平均正答率と平均正答数

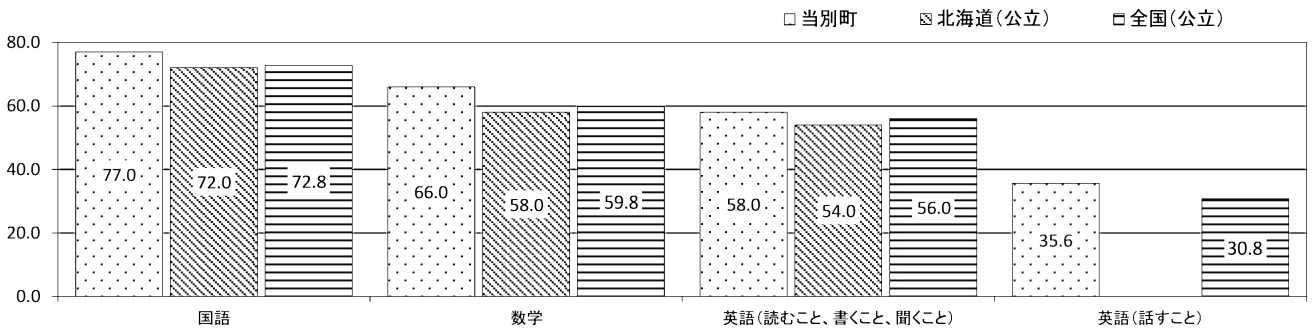
	国語		数学		英語(読むこと、書くこと、聞くこと)		英語(話すこと)	
	平均正答率(%)	平均正答数/問題数	平均正答率(%)	平均正答数/問題数	平均正答率(%)	平均正答数/問題数	平均正答率(%)	平均正答数/問題数
当別町	77.0	(7.7/10)	66.0	(10.6/16)	58.0	(12.3/21)	35.6	(1.7/5)
北海道(公立)	72.0	(7.2/10)	58.0	(9.3/16)	54.0	(11.4/21)		
全国(公立)	72.8	(7.3/10)	59.8	(9.6/16)	56.0	(11.8/21)	30.8	(1.5/5)
全国との差	+ 4.2	(0.4/10)	+ 6.2	(1.0/16)	+ 2.0	(0.5/21)	+ 4.8	(0.2/5)

※平均正答率・平均正答数は、国から提供されたデータによる。

※( )内の平均正答数と問題数欄は分子が平均正答数で、分母が問題数として記載。

※平均正答率…平均正答数を百分率で表示。国語、数学、英語(読むこと、書くこと、聞くこと)、英語(話すこと)ごとの平均正答率は、それぞれの平均正答数を設問数で割った値の百分率(概数)。

※英語(話すこと)について、北海道(公立)の結果は非公表。



(単位: %)

##### 2 全国平均を基準(100)とした場合の領域ごとの正答率

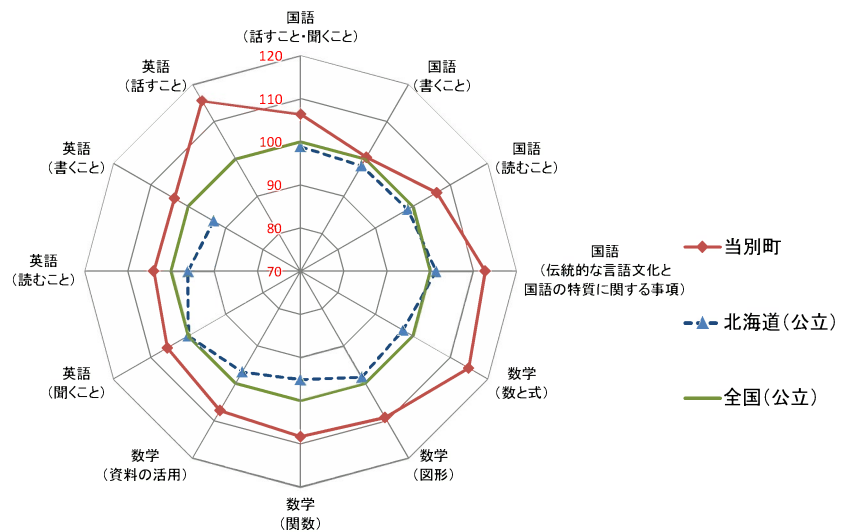
	国語(話すこと・聞くこと)	国語(書くこと)	国語(読むこと)	国語(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)	数学(数と式)	数学(図形)	数学(関数)	数学(資料の活用)	英語(聞くこと)	英語(読むこと)	英語(書くこと)	英語(話すこと)
問題数	3/10	2/10	3/10	2/10	5/16	4/16	3/16	4/16	7/21	6/21	8/21	5/5
当別町	106.4	100.5	106.4	112.7	114.9	109.1	108.3	107.3	105.6	104.0	103.7	115.6
北海道(公立)	98.9	98.2	98.6	101.3	97.3	98.3	95.1	97.0	100.0	96.0	93.2	
全国(公立)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

※教科の領域別に全国を100とした場合の状況をレーダーチャートで示したもの。

※(当別町)生徒の平均正答率: 全国(公立)の平均正答率×100で算出

※1つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数と一致しない。

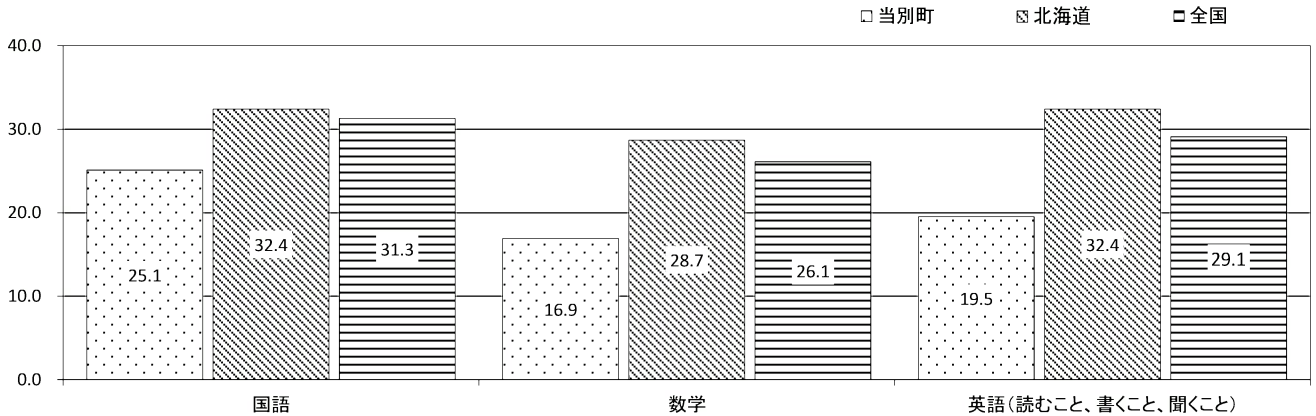
※英語(話すこと)について、北海道(公立)の結果は非公表。



### 3 全国の下位約25%と同じ正答数の範囲に含まれる生徒の割合

全国の下位約25%と同じ正答数の範囲に含まれる生徒の割合	国語			数学			英語(読むこと、書くこと、聞くこと)			
	当別町	北海道	全国	当別町	北海道	全国	当別町	北海道	全国	
	25.1%	32.4%	31.3%	16.9%	28.7%	26.1%	19.5%	32.4%	29.1%	
全国との差	10問中6問以下		16問中6問以下		21問中9問以下					
	▲ 6.2		少ない		▲ 9.2		少ない		▲ 9.6	

※英語(話すこと)については、全国の下位約25%が非公開のため、掲載しない。



### 4 教科ごとの結果概要

#### 【国語】

- ① 平均正答率は、全国より4.2ポイント高く、生徒の学力向上が示される結果となった。
- ② 領域ごとの正答率では、すべての領域で全国を上回っている。特に、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域で、全国を大きく上回っている。
- ③ 下位層の割合は、全国より6.2ポイント低く、下位層の底上げの成果を示す結果となった。

#### 【数学】

- ① 平均正答率は、全国より6.2ポイント高く、生徒の学力向上が示される結果となった。
- ② 領域ごとの正答率では、すべての領域で全国を大きく上回っており、苦手とする領域がないことがうかがえる結果となった。
- ③ 下位層の割合は、全国より9.2ポイント低く、生徒間の学力差が小さいことを示す結果となった。

#### 【英語】

- ① 平均正答率は、「読むこと、書くこと、聞くこと」では全国より2.0ポイント高く、「話すこと」では全国より4.8ポイント高い結果となっており、英語力の強化に向けた取組の成果が表れている。
- ② 領域ごとの正答率では、すべての領域で全国を上回っている。特に「話すこと」の領域で、全国を大きく上回っている。
- ③ 下位層の割合は、「読むこと、書くこと、聞くこと」では全国より9.6ポイント低く、生徒間の学力差が小さいことを示す結果となった。

#### 【学力の底上げ】

- ① 当別町独自で小中一貫教育推進講師を配置している。
- ② 小学校と中学校の9年間を見通した教育課程を編成し、実施している。
- ③ 教師力向上のために、小中合同研修を実施している。
- ④ 主体的な学びになるよう授業改善を行っている。
- ⑤ ICT機器を積極的に活用している。
- ⑥ 家庭学習の習慣化を図り、全ての生徒が1時間以上学習している。

### 5 改善策

#### 【国語】

- ① 話し合い、自分の考えをまとめる指導を意図的・計画的に行う。
- ② 目的をもって文章を読み、必要な情報を取り出すことができるような指導を行う。
- ③ 振り返りを記述式を用いて行う。

#### 【数学】

- ① 日常生活や社会現象など、目的に応じてデータを収集し、そのデータに基づいて問題解決する活動を充実させる。
- ② 結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見出し説明する活動を充実させる。
- ③ アクティブ・ラーニングの手法を用いた授業改善を図る。

#### 【英語】

- ① 英語を使用し、互いに考えや気持ちを伝え合う活動を積極的に取り入れる。
- ② 考え、気持ちを整理し、英語を使用してまとまりのある文章を書く活動を積極的に取り入れる。

#### 【授業全般】

- ① 全教職員に「カリキュラム・マネジメント」の必要性を理解させ、日々の授業等について、教育課程全体の中での位置づけを意識させる。
- ② 小学校と中学校で研究テーマを統一し、9年間で育てる児童・生徒の資質・能力の共有化が進んできた。全国学力・学習状況調査の結果分析から課題を明確にして、それを学校改善プランに反映し、実践する。
- ③ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、アクティブ・ラーニングの視点を取り入れた授業改善を積極的に進める。

## 2) 学習状況調査（生活習慣・学習環境等）

### 【国語の学習について】

全国と比べ改善が必要な項目	当別町	全国	差
国語の勉強は好きですか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	18.6	24.6	△6.0
国語の勉強は大切だと思いますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	46.9	59.0	△12.1
国語の授業の内容はよく分かりますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	26.5	28.4	△1.9
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	38.9	53.7	△14.8
国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で、話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようとしていますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	21.2	31.2	△10.0
国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしていますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	23.9	32.5	△8.6
国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝わるように根拠を示したりするなど、話や文章の組立てを工夫していますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	20.4	20.9	△0.5
国語の授業で文章や資料を読むとき、目的に応じて、必要な語や文を見つけたり、文章や段落どうしの関係を考えたりしながら読んでいますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	20.4	25.2	△4.8

#### 特徴的な傾向

- ・「国語の勉強は好きですか」が6.0ポイント、「国語の勉強は大切だと思いますか」が12.1ポイント全国よりも低い数値が出ている。このことは、授業に対する生徒の興味・関心が低いことを示しており、教員の授業改善が課題である。
- ・「授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」が14.8ポイント、「学習したことを、普段の生活の中で、話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようとしていますか」が10.0ポイント全国より低い数値が出ている。学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力」が十分に育成されていないことを示しており、教員の授業改善が課題である。



### 【数学の学習について】

全国と比べ優位な項目	当別町	全国	差
数学の勉強は好きですか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	34.5	30.7	3.8
数学の授業の内容はよく分かりますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	39.8	34.8	5.0

全国と比べ改善が必要な項目	当別町	全国	差
数学の勉強は大切だと思いますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	49.6	49.8	△0.2
数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	39.8	40.3	△0.5

#### 特徴的な傾向

- ・「数学の勉強は大切だと思いますか」が 0.2 ポイント、「数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」が 0.5 ポイント全国よりも低い数値が出ている。このことは、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力」が十分に育成されていないことを示しており、教員の授業改善が課題である。
- ・「数学の勉強は好きですか」が 3.8 ポイント、「数学の授業の内容はよく分かりますか」が、5.0 ポイント全国よりも高い数値が出ている。このことは、生徒の興味・関心を引き出す授業を行っている証左であり、今後も、生徒の興味・関心を引き出す見通しを持たせる授業を実践してほしい。



【英語の学習について】

全国と比べ優位な項目	当別町	全国	差
英語の勉強は好きですか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	38.1	29.0	9.1
英語の勉強は大切だと思いますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	67.3	58.9	8.4
英語の授業はよく分かりますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	36.3	29.5	6.8
英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	61.9	60.7	1.2
1、2年生のときに受けた授業では、英語を聞いて（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	46.0	33.6	12.4
1、2年生のときに受けた授業では、英語を読んで（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	47.8	35.7	12.1
1、2年生のときに受けた授業では、原稿などの準備をすることなく、（即興で）自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思いますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	32.7	26.0	6.7
1、2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていたと思いますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	40.7	39.1	1.6
1、2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動が行われていたと思いますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	34.5	32.9	1.6

全国と比べ改善が必要な項目	当別町	全国	差
あなたはこれまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会（地域の人や海外にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、英会話教室に通うなど）が十分にありましたか （「当てはまる」と回答した割合の合計）	12.4	15.4	△3.0
あなたは将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思いませんか （「当てはまる」と回答した割合の合計）	16.8	18.2	△1.4
1、2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いませんか （「当てはまる」と回答した割合の合計）	21.2	41.9	△20.7
1、2年生のときに受けた授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思いませんか （「当てはまる」と回答した割合の合計）	39.8	41.0	△1.2

### 特徴的な傾向

- ・「1、2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いませんか」が、全国より 20.7 ポイント低い数値となっている。このことは、新学習指導要領で示されている「英語で表現したり、伝え合ったりなどする力」の育成が課題であることを明らかにしているデータであり、英語の授業改善に早急に着手しなければならないと考える。
- ・「英語の勉強は大切だと思いますか」が 8.4 ポイント、「英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いませんか」が、1.2 ポイント全国よりも高い数値が出ている。このことは、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力」が育成されてきていることを示しており、教員の授業改善をより一層進め、「学びに向かう力」の育成を加速していくことが課題である。
- ・「英語を聞いて（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いませんか」が 12.4 ポイント、「英語を読んで（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いませんか」が、12.1 ポイント全国より高い数値が出ている。このことは、「概要や要点を聞き取る力」や「あらすじや大切な部分を読み取る力」が育成されてきているデータであり、教員の授業改善をより一層進め、「外国語理解の能力」の育成を加速していくことが課題である。

## 【家庭学習について】

全国と比べ優位な項目	当別町	全国	差
昼休みや放課後、学校が休みの日に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか （「だいたい週に4回以上」「週に1～3回程度」と回答した割合の合計）	10.6	8.3	2.3

全国と比べ改善が必要な項目	当別町	全国	差
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか （「している」と回答した割合の合計）	13.3	14.9	△1.6
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含む） （「3時間以上」「2時間以上、3時間より少ない」と回答した割合の合計）	28.3	35.5	△7.2
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く） （「2時間以上」「1時間以上、2時間より少ない」と回答した割合の合計）	8.8	12.4	△3.6

### 特徴的な傾向

- ・「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含む）」が、全国より7.2ポイント低い数値が出ている。家庭での学習時間が、全国に比較するとやや低いことから、キャリア教育をしっかりと行い、目的を明確にして学習に取り組むように支援していきたい。
- ・「昼休みや放課後、学校が休みの日に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか」が、全国より2.3ポイント高い数値が出ている。読書をする習慣はついてきているが、読書時間が全国より短い傾向にあるので、学校と家庭が連携して家読に取り組ませたい。

【基本的な生活習慣について】

全国と比べ改善が必要な項目	当別町	全国	差
朝食を毎日食べていますか (「している」と回答した割合の合計)	74.3	82.3	△8.0
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか (「している」と回答した割合の合計)	30.1	33.6	△3.5
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか (「している」と回答した割合の合計)	52.2	57.0	△4.8

特徴的な傾向

- ・「朝食を毎日食べていますか」が、8.0ポイント、「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」が3.5ポイント、「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」が4.8ポイント全国より低い数値になっている。「規則正しい生活習慣」にかかわる項目が、全国よりやや低い傾向にあるので、学校と家庭が連携して「規則正しい生活習慣」づくりを啓発していきたい。

【指導に関わる項目について】

全国と比べ優位な項目	当別町	全国	差
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	38.1	31.3	6.8
先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	49.6	37.3	12.3
学級みんなで話し合っただけで決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがありますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	53.1	45.4	7.7
1、2年生のときに受けた授業で、コンピュータなどのICTをどの程度使用しましたか (「ほぼ毎日」と回答した割合の合計)	15.0	7.0	8.0
授業でもっとコンピュータなどのICTを活用したいと思いますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	57.5	48.0	9.5
あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思いますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	38.9	25.3	13.6

全国と比べ改善が必要な項目	当別町	全国	差
生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	23.0	28.3	△5.3
授業で学んだことを、ほかの学習に生かしていますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	23.0	26.9	△3.9
総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思いますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	11.5	20.3	△8.8
学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいると思いますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	20.4	21.0	△0.6
1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	26.5	29.3	△2.8
1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	12.4	18.1	△5.7
1、2年生のときに受けた道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思いますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	32.7	34.0	△1.3

## 特徴的な傾向

- ・「生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」が5.3ポイント、「学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいると思いますか」が0.6ポイント、「1、2年生のときに受けた道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思いますか」が1.3ポイント全国より低い数値になっている。今後、話し合い活動が重要になってくるので、アクティブ・ラーニングを取り入れた授業に積極的に取り組んでいく必要がある。
- ・「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか」が全国より12.3ポイント高い数値が出ている。このことは、教師が生徒に学習内容を分かるまで丁寧に教えていることが、着実に成果となって表れていることを示している。今後も、丁寧に、分かるまで教えることを定着させていきたい。
- ・「学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思いますか」が全国よりも13.6ポイント高い数値になっている。このことは、学級の中で問題が生じたときは、自主的に話し合いで解決していく風土が根付いていることにつながり、生徒が安心して学びあえる環境づくりを行っている証左である。今後も、こうした支持的風土を広めていくように支援したい。
- ・「1、2年生のときに受けた授業で、コンピュータなどのICTをどの程度使用しましたか」が8.0ポイント、「授業でもっとコンピュータなどのICTを活用したいと思いますか」が9.5ポイント全国より高い数値になっている。授業でICTの使用頻度が高く、効率的な授業が行われており、より一層ICT機器が有効に使用されるように支援していく。
- ・教師が生徒を認め、良さを褒めることで自己肯定感が高まり、成長が加速されるので、積極的に良さを引き出し、褒めることで自己肯定感をより一層高めていきたい。

【その他について】

全国と比べ優位な項目	当別町	全国	差
自分には、よいところがあると思いますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	30.1	29.0	1.1
将来の夢や目標を持っていますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	46.0	44.9	1.1
学校に行くのは楽しいと思いますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	46.0	45.7	0.3
学校の規則を守っていますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	67.3	66.8	0.5
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	78.8	78.3	0.5
人の役に立つ人間になりたいと思いますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	75.2	71.1	4.1
外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	35.4	33.0	2.4

全国と比べ改善が必要な項目	当別町	全国	差
家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか (「している」と回答した割合の合計)	33.6	46.4	△12.8
ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	73.5	75.6	△2.1
難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	14.2	22.5	△8.3
人が困っているときは、進んで助けていますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	30.1	34.6	△4.5
読書は好きですか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	36.3	38.9	△2.6
新聞を読んでいますか (「ほぼ毎日」「週に1～3回程度」と回答した割合の合計)	8.8	12.7	△3.9
今住んでいる地域の行事に参加していますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	13.3	21.0	△7.7
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	4.4	11.5	△7.1
日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	24.8	25.8	△1.0

## 特徴的な傾向

- ・家庭内での子どもとの会話が、やや少ない傾向にある。自己肯定感や将来の夢・希望に関しては全国よりもやや高い傾向にあるものの、子どもと将来の夢・希望に関してしっかりと話し合うことがキャリア教育の基礎であることから、家庭にも子どもとの対話の重要性を啓発していきたい。
- ・「難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか」が、全国より 8.3 ポイント低い数値になっている。失敗を恐れずに何事にも挑戦する心の育成を図る取り組みが必要である。
- ・「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」が全国より 4.1 ポイント高い数値になっている。これまでも全国をやや上回る数値で推移してきたが、より一層自己肯定感を高める取り組みを支援していきたい。
- ・その一方で、「人が困っているときは、進んで助けていますか」が全国より 4.5 ポイント低い数値になっている。子どもたちが人との関係性のところで、消極的で慎重なところが特徴として出ている。ここでも失敗を恐れずに何事にも挑戦する心の育成を図る取り組みを推進していきたい。
- ・地域行事への参加や地域貢献にかかわる項目が、全国より低い傾向にある。コミュニティ・スクールの取り組みも動き出しているので、今後、子どもたちが、地域に関心を持ち、地域と積極的に触れ合う機会が増えて、郷土愛がより深くなっていくと思われる。



#### IV 当別町学力向上プラン

# 当別町学力向上プラン

【目標】全国学力・学習状況調査で全教科正答率全国平均を上回る

### 【現状と課題】

- 小学校では、国語、算数の正答率が、全国平均を上回ることができた。9年間連続した教育課程を確実に実施するために、アクティブ・ラーニングの視点を取り入れた授業改善を積極的に進め、学力向上を確かなものにする。
- 中学校では、国語、数学、英語の平均正答率で全国平均を上回ることができた。9年間連続した教育課程を確固たるものにし、アクティブ・ラーニングの視点を取り入れた授業改善を積極的に進め、学力向上を確かなものにする。

### 【具体的な方策】

#### 学 校

#### 小中一貫教育の一層の推進

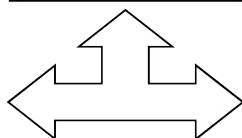
- 「主体的、対話的で深い学び」の実現に向けてアクティブ・ラーニングの視点を取り入れた授業の工夫
- 指導内容の連続性や系統性を重視した教育課程の工夫改善
- 学校改善プランの着実な実践
- 授業改善推進チームを積極的に活用した授業改善の推進
- コミュニティ・スクールを活用した「社会に開かれた教育課程」の実現
- 家庭学習の定着と内容の工夫
- 一貫教育推進講師の効果的な活用
- 小中の研究計画を9年間見通し、合同研究・合同研修の実施
- 教師力向上に向けた校内研修の充実
- 教師の働き方改革に即応した業務の効率的な処理

#### 教育委員会

#### 小中一貫教育の一層の推進

- 施設一体型義務教育学校開設に向けた準備
- 一貫教育推進講師の配置・活用
- 小中の乗り入れ授業の指導
- 「主体的、対話的で深い学び」の実現に向けてアクティブ・ラーニングの視点を取り入れた授業方法の指導・助言
- ICT機器の整備と活用
- 指導工夫改善に関わる指導
- 放課後学習会や土曜学習会の充実
- 長期休業中の学習支援の充実
- 家庭での読書習慣の啓発と読書活動の充実
- コミュニティ・スクールの活用・支援
- 喫緊の教育課題に即応した長期休業中の研修内容の充実
- 業務の効率化に有効な校務支援システムの活用

学 力 の 上



4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実施	←改善プランの実践→			結果分析	←改善プランの見直し・実践→						

